

「今日もあそこに行ってみよう！」

社会的居場所の役割多様に

介護予防から生きがいの創出まで

介護保険制度施行から17年。この間社会は大きく変化し介護保険法も何度も改正されてきましたが、2015年にまた大きく改正されました。

これまで予防給付として全国一律に介護保険から給付されていた要支援者への訪問介護や通所介護は、2015年から「一般介護予防事業」と「介護予防・生活支援サービス」として各市町村が行うことになりました。

市町村への移行については、各行政の財政状況などに地域間の格差が懸念されますが、もう介護保険だけではこの高齢社会は乗り切れません。健康年齢が伸び、市民ニーズも多様化しています。高齢になっても元気ならゆったり働き続け社会に参加していける仕事場。趣味や特技を仲間と共有する場所。生活の不自由を助けてくれる気軽な家事援助のサービスが受けられるシステムなど。高齢社会を豊かに生き抜くために求められているニーズは様々です。

この市民ニーズに応えるために、地域の福祉は自分たちで作っていくといった考え方が必要になっています。

社会的居場所の必要性を感じたワーカーズ・コレクティブは、各地で独自の居場所事業を展開しています。

ミシンカフェを中心に、いくつになっても関われる場所
ワーカーズ・コレクティブ紬



志木市本町 5-7-15
090-8841-4658
Facebook
<https://www.facebook.com/tsu mugicafe>

着物着付教室

事業内容



ミシンカフェ、ランチ・喫茶、各種教室開催、レンタルボックスなど

営業時間

10:30~16:30

定休日

日・月・祝日

気持ちがきらきらするイベントを企画します

ワーカーズ・コレクティブきらきら館



加須市北小浜 256-1
070-2796-6448

MAIL

kirakirakan2016@gmail.com

事業内容

各種教室開催、各種イベント開催、生活サポートなど



写真上：親子で遊ぼう
(未就学児の体操教室)

下：イベント
きらきら寄席